

●ISG スタータージェネレーター統合システム(1)

ISG(Integrated Starter Generator)は、バイクに必要な電力を発生させるジェネレーターに逆向きの電力を供給することでモーターになる性質を利用し、ジェネレーターとスターターモーターの機能を一つに統合した部品です。新しいゴールドウイングでは、ジェネレーターとしての発電量とエンジン始動トルクのバランスなどを考慮しISGを大型二輪車初採用*。軽量コンパクト化とエンジン始動時の静粛性向上を図ることで上質感を高めています。

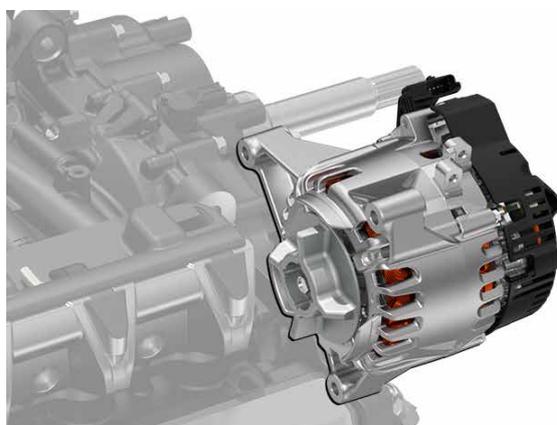
※Honda調べ 2018年1月時点

軽量化

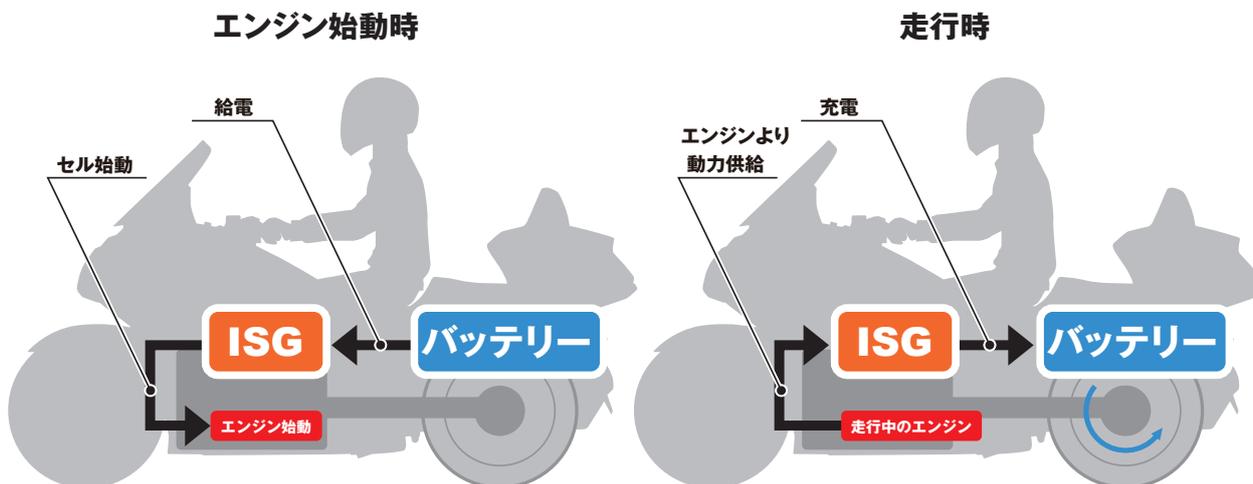
ISGの採用により従来のスターターモーターやそれに付随する始動系の減速ギア、配線類を廃止。また、ISG側とクランク軸側双方の駆動力を伝達するカップリング(継手)に使用するダンパーを、従来ジェネレーターのビスカス(流体)式からアークスプリングとラバー併用の機械式*に変更することで軽量化を図りました。これらによりシステム全体で約2.4kgの軽量化を実現しました。

※ 特許出願中

■ISG(Integrated Starter Generator)



■ISG作動イメージ図



静粛性向上

新しいゴールドウイングは、ISG駆動ギアにヘリカルギヤを採用する事でエンジンのメカノイズを低減しました。これにより、排気音の魅力をより際立たせる事に寄与しています。